



ロータリーは機会の扉を開く

一宮ロータリークラブ
2020-2021年度方針
会長 光 寄 賢 一

2020-21年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク氏は年度のテーマを

「ロータリーは機会の扉を開く (Rotary Opens Opportunities)」とされました。

そして、有機的かつ持続可能なかたちで、いかにしてロータリーを成長させることができるかを考えて欲しい、とっておられます。

2020-21年度 第2760地区ガバナー 岡部 勢氏はこれをうけて、地区の各クラブに、大きく奉仕活動を推進し、世界の平和につなげ、また仲間を増やして行こうと呼びかけられ、「世界で何かよいことをしよう、TOGETHER！」-ロータリークラブの奉仕が、世界の平和につながってゆきます-を地区方針とされました。

さて、私は日本のロータリー100周年の年度に、歴史と伝統に輝く一宮ロータリークラブの2020-21年度会長にご推挙頂いた名誉を思い、その重い責任を感じつつ、年度の方針をご提言申し上げます。

「TOGETHER」 楽しみましょう

当クラブは70周年の節目を越え更なる飛躍を求められています。私は伸びるためには力を溜める時もあると思います。今年度をそんな期間としたいと願っています。楽しいから人が集まる。そして、楽しむための一番の方法はやはり皆が集まること (together)。集まれば、より活動的になることが出来る、とクナーク会長も仰っています。岡部ガバナーも行動指針の1番目に「クラブの活性化を図ろう」とされています。会員の参加と維持を促すような経験を当クラブが提供できたら有難いと私は思います。そこで、

① 例会や活動を楽しみましょう

会員の参加と維持を促すような経験を提供し続けるために会員の皆様のご協力をお願いします

② ロータリーファミリーとの連携を図りましょう

ローターアクター、インターアクター、ライラリアン、青少年交換留学生、米山記念奨学生たちと積極的にふれあいましょう。

③ あらゆる機会を捉えて、ロータリーがポリオ撲滅のためにいかに努力しているかを語りましょう

ポリオ撲滅まであと少し。ロータリーはさらに多くの人の結束を促し、活動のインパクトをたかめ、世界に変化をもたらしていくための新たな道を切り開くときが来ています。

今年度はスタート前から新型コロナウイルスに翻弄されています。しかし私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いていることを信じて

「ロータリーは機会の扉を開く (Rotary Opens Opportunities)」